

# 全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト

(平成22年度 事業成果報告)

## ～灰色文献グリーン化作戦～

島根大学 学術国際部 図書情報課  
矢田 貴史

国立情報学研究所 C S I 委託事業 (領域2)  
全国遺跡資料リポジトリ・プロジェクト

# 遺跡資料リポジトリとは？

- ▶ 電子版の遺跡発掘調査報告書をサーバにアーカイブし、リポジトリ仕様(OAI-PMH)によりインターネット公開
- ▶ 報告書特有の抄録データをもとにした歴史・考古学分野のサブジェクト・リポジトリであり、主題に特化した利用システムにより報告書の流通と利活用を促進
- ▶ 自治体文化財担当部署と大学との連携・協力により運営

## ▶ 遺跡資料リポジトリ

<http://rarcom.lib.shimane-u.ac.jp/>

## ▶ コミュニティサイト

<http://rarcom.lib.shimane-u.ac.jp/xoops/html/>

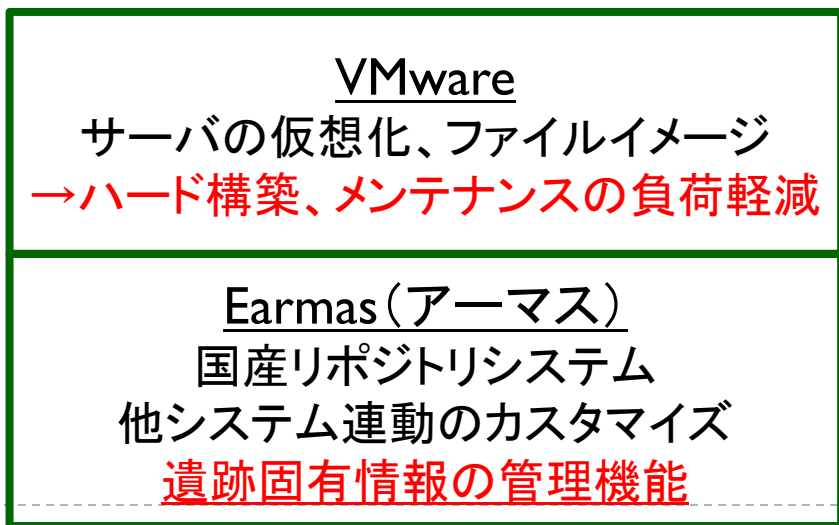
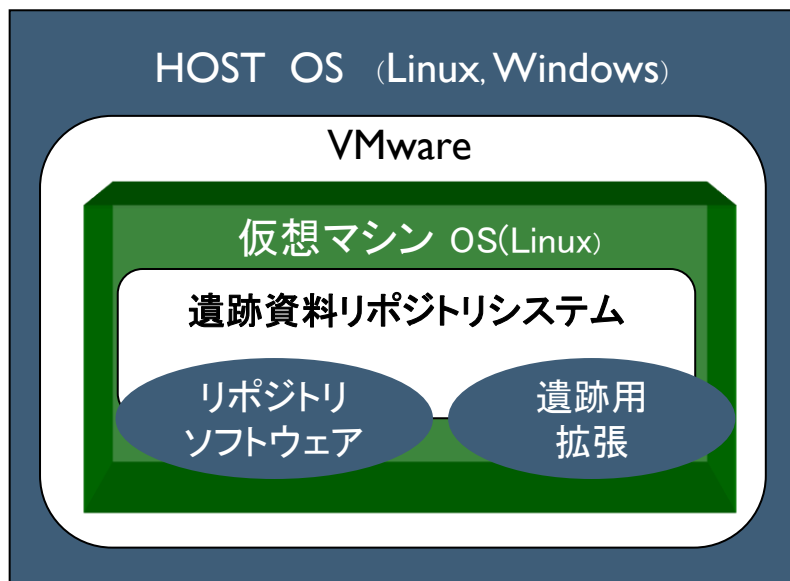


# 発掘調査報告書とは？



- ▶ 埋蔵文化財の発掘調査内容をまとめた自治体等が発行する学術的な記録であり、歴史・考古学分野の基本資料
- ▶ 少数発行の冊子資料であり、寄贈・交換が中心であるため、流通範囲が限られ一般には利用しにくい灰色文献
- ▶ 専門分野の研究者・専攻学生・文化財行政・調査現場、一般愛好家等需要の裾野は広い
  - **コンテンツを収集・保存・流通させる意義**
- ▶ 1994年から文化庁の指導のもと抄録付与が必須に
  - **専門分野固有の項目、属性、区分を持つため、既存のリポジトリシステムだけでは運用できない**

# リポジトリ・サーバ



報告書抄録

ふりがな	はまだじょうあと ていえんあとのちようさ 1						
書名	浜田城跡 (庭園跡の調査 1)						
副書名	郵便取得活用に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書						
巻次							
シリーズ名							
シリーズ番号							
編著者名	榊原 博美						
編集機関	島根県浜田市教育委員会						
所在地	〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地 TEL.0855-22-2612 (代)						
発行年月日	2007年 3月						

ふりがな 所有遺跡名	ふりがな 所在地	市町村	遺跡 番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
はまだじょうあと (ていえんあと)	しまねはなはまだし とのまち			34°	132°	20010223 ~20010310	721㎡	郵便取得活 用に伴う本発 掘調査
浜田城跡 (庭園跡)	島根県浜田市 殿町	32202	L27	54° 03'	64° 24'	20060410 ~20060512	50㎡	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
浜田城跡 (庭園跡)	城跡	古代~中世 近世~昭和40年頃	中島(築山) 石垣・杭列	須恵器・土師器・陶磁器・肥前磁器 ・石瓦・近世瓦・近現代瓦	浜田城の庭園 として、人工 の池と島を造 る。

要約

浜田城山の南西にあった浜田城の庭園跡は、近世から昭和40年頃まで池と島が2つあったが、埋め立てられてグラウンドになっていた。調査の結果、造成土の下で島の端の杭列・池の端の杭列が確認され、ほぼ池と島の形を確認することができた。池は皿車型に近い形をし、くびれ部には石垣などにより水門が造られていた。島は造地帯に土を盛り上げて造られた人工の島(築山)であった。近世末頃の黒瓦や陶磁器類、浜田城築城以前の須恵器や中世の遺物が出土した。

報告書抄録記載の遺跡情報

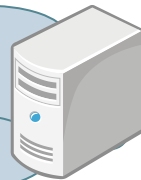
遺跡名、遺跡所在地、市町村コード、  
遺跡番号、北緯、東経、調査期間、  
調査面積、調査原因、種別、時代など



# 遺跡資料リポジトリ 全体イメージ

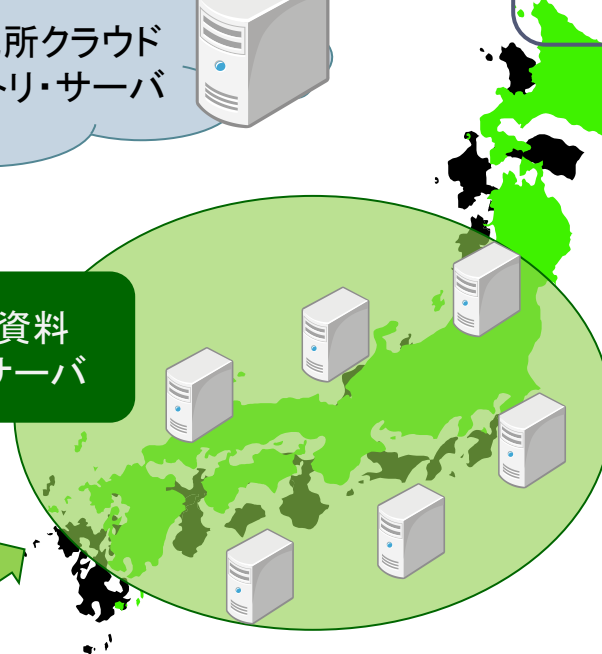
サーバ管理・維持コスト減！

国立情報学研究所クラウド  
遺跡資料リポジトリ・サーバ



1. 都道府県単位に分散構築
2. NIIクラウド上に共同サーバ

各大学遺跡資料  
リポジトリ・サーバ



国立情報学研究所  
Webcat Plus



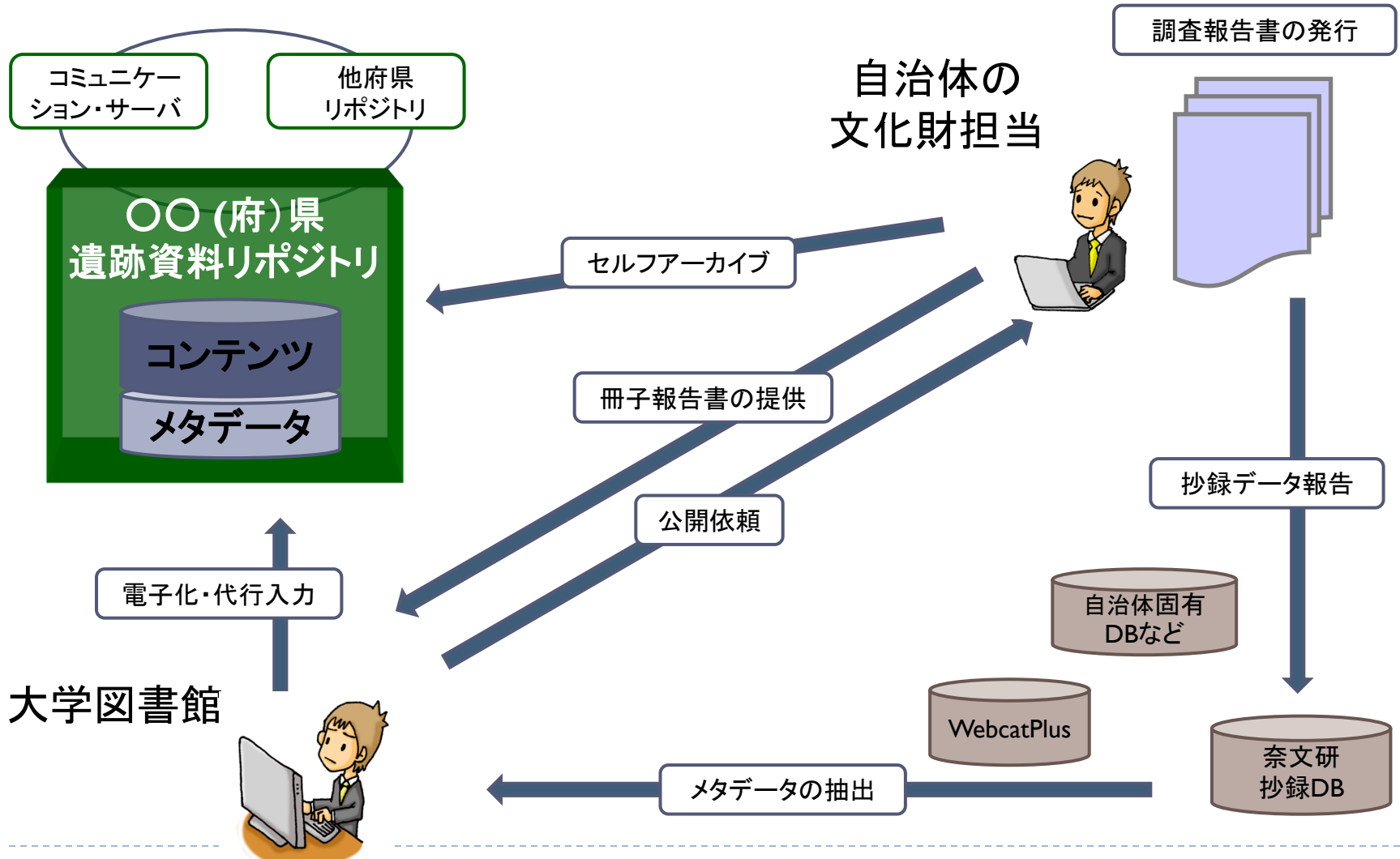
奈良文化財研究所  
報告書抄録DB



コミュニケーション・サーバ  
横断検索・各種情報提供



# コンテンツの収集から公開まで



# 収集 → 電子化 → 登録・公開

## ▶ 各都道府県域単位で報告書を収集

- 大学から自治体へ協力依頼



## ▶ 過去発行分

- 冊子報告書の電子化
- メタデータは報告書抄録データベース等を利用

(奈良文化財研究所、全国埋蔵文化財法人連絡協議会、当該自治体)

## ▶ カレント分

- 発行時にメタデータ+PDFファイル提供
- 報告書発行時に冊子・電子版同時作成の依頼

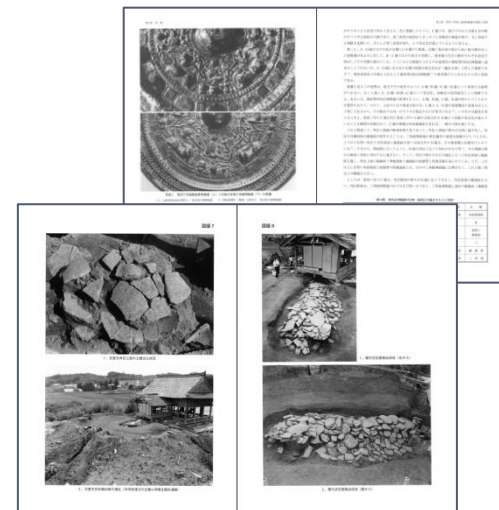
# 収集 → 電子化 → 登録・公開

## ▶ 冊子体からの電子化

- ・ 印刷・保存用は高精細なものが必要
- ・ 公開・配信用はネット負荷を考慮して軽量化が必要
- ・ 報告書には精細な文字・カラーイラストや写真も多い
- ・ 全文検索のためOCRソフトによるテキスト化が必要
- ・ 出版数膨大，頁数，画像・写真，数表，折込図など多彩

## ▶ 電子化仕様 (平成22年度)

	公開用	保存用	備考
2値	600dpi	600dpi	テキスト・図
グレー	300dpi	600dpi	モノクロ写真
カラー	300dpi	600dpi	カラー写真
圧縮率	高圧縮	低圧縮	2値:G3, 多値:jpeg
ファイル分割	約30MG	なし	





# 収集 → 電子化 → 登録・公開

## ▶ 大学による代行登録と公開処理

- 奈良文化財研究所抄録データを流用登録
- Webcat Plusから書誌データを流用登録
- 著作権許諾の手続きを行い公開



## ▶ 自治体によるセルフアーカイブ

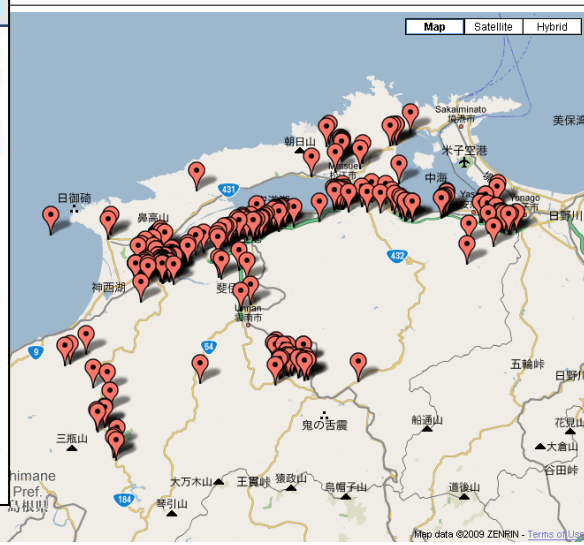
- 元データ、関連情報のアーカイブ
- 専門的なメタデータの付与
- 迅速な公開



URI	<a href="http://rar.lib.shimane-u.ac.jp/Repository/metadata/8438">http://rar.lib.shimane-u.ac.jp/Repository/metadata/8438</a>
書名かな	はまだじょうあと ていえんあとのちょうさ いち
書名	浜田城跡 庭園跡の調査 1
副書名	御便殿取得活用に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ	
シリーズ番号	
編著者名	神原博英
編集機関	浜田市教育委員会
発行機関	浜田市教育委員会
発行年月日	20070228
作成機関ID	32202
郵便番号	697-8501
電話番号	0855-22-2612
住所	浜田市殿町1
本内順位	2008
キーワード	浜田城跡<庭園跡>
地域区分	浜田市
ファイル	浜田城跡<庭園跡の調査1>.pdf ( 3.9MB ) 公開日2009-05-14
資料タイプ	研究報告書
所蔵	
内部ID	580
遺跡名ふりがな	はまだじょうあとていえんあと
遺跡名	浜田城跡<庭園跡>
遺跡所在地	島根県浜田市殿町
所在地ふりがな	しまねけんはまだしとのまち
遺跡番号	浜田27
市町村コード	32202
北緯<日本測地系>	
東経<日本測地系>	
北緯<世界測地系>	34° 54′ 03″
東経<世界測地系>	132° 04′ 24″
調査期間	20010223-20010319 20060410-20060512
調査面積	721 50
調査原因	御便殿取得活用に伴う本発掘調査
種別	城跡
主な時代	古代~中世/近世~昭和40年頃
遺跡概要	中島<鋳山>+石垣+枕列+須置器+土師器+陶磁器 +肥前陶器+石見焼+近世瓦+近現代瓦
特記事項	浜田城の庭園として、人工の池と島を造る。

# 検索・利用システム

- ▶ 報告書検索…書誌情報、全文、遺跡情報
- ▶ マップ表示…抄録に含まれる遺跡の位置情報を利用してGoogleマップで表示
- ▶ 他府県域も含めた横断検索



# 平成22年度事業成果

---

## ▶ 対象地域の拡大

- 中国5県(20年度)→12府県域(21年度)→20府県域(22年度)
- 新規参加大学(山形、信州、富山、滋賀、奈良女子、徳島、愛媛、九州)

## ▶ クラウド導入など管理・利用のための改修

- クラウド対応、データ登録負荷の軽減、ユーザインターフェースの改善など

## ▶ 自治体での電子化(セルフアーカイブ)

- 自治体が作成した電子化データをリポジトリに搭載(山形県、福岡県)
- 自治体でのセルフアーカイブを支援

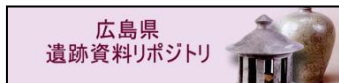
## ▶ オープンカンファレンスを開催

- 12/17@大阪大学、学会に所属する研究者や自治体担当者の参加、一般参加もあり

## ▶ 外部資金によるコンテンツの充実

- CSI事業費のほか、科学研究費補助金の獲得

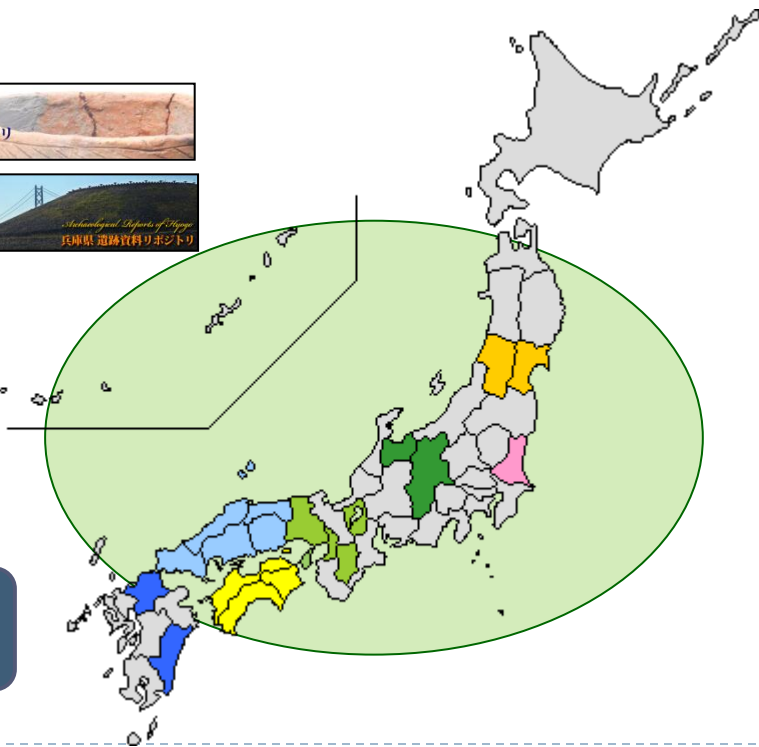
# 対象地域の拡大＜20府県域＞



＜平成20年度＞ 鳥取、島根、岡山、広島、山口



＜平成21年度＞ 宮城、茨城、大阪、兵庫、香川、高知、宮崎



＜平成22年度＞ 山形、富山、長野、滋賀、奈良、徳島、愛媛、福岡



# システム改修《クラウド対応ほか》

---

## ▶ クラウドシステムの導入

- NII共同サーバ上にシステムを構築→対応のためWebDAV機能を実装  
→サーバ管理・維持のコスト負担減  
→新規8大学は全てクラウドで運用 《23年度も継続》

## ▶ メタデータ登録の負荷軽減等

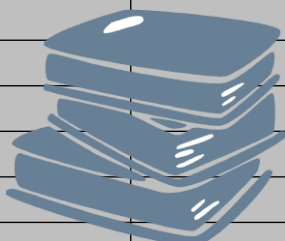
- メタデータ構造の見直し
- PDFからのメタデータ自動生成機能

## ▶ ユーザーインターフェースの改善

- 一覧・詳細画面でのPDFのサムネイル表示機能
- バージョンアップしたWebcatPlusへの対応
- 国立国会図書館PORTAとの連携・・・PORTAフォーマットに対応したメタデータ出力機能

# コンテンツの充実（平成20～22年度）

	平成20年度(2008)		平成21年度(2009)		平成22年度(2010)		合計	
	冊数	ページ数	冊数	ページ数	冊数	ページ数	冊数	ページ数
鳥取県	102	6,528	731	58,874			833	65,402
島根県	306	19,616	661	70,368	120	10,165	1,087	100,149
岡山県	235	15,040	198	20,500	133	14,346	566	49,886
広島県	108	5,300					108	5,300
山口県	169	10,816	150	14,520			319	25,336
宮城県			25	4,811	11	1,229	36	6,040
茨城県			35	4,125	163	18,247	198	22,372
大阪府			317	27,803	88	9,728	405	37,531
兵庫県			524	95,147			524	95,147
香川県			413	35,475	133	45,515	546	80,990
高知県			201	20,520	11	613	212	21,133
宮崎県			377	36,896	224	15,727	601	52,623
山形県					850	8,500	850	8,500
富山県					93	17,977	93	17,977
長野県					1,555	162,116	1,555	162,671
滋賀県					249	22,403	249	22,403
奈良県					92	8,038	92	8,038
徳島県					98	21,023	98	21,023
愛媛県							0	0
福岡県					1,013	101,300	1,013	101,300
<b>合計</b>	<b>920</b>	<b>57,300</b>	<b>3,632</b>	<b>389,039</b>	<b>4,833</b>	<b>456,927</b>	<b>9,385</b>	<b>903,821</b>



※CSI事業費・科研費のほか、22年度は自治体で行った電子化も含む

# 今後の展望・課題

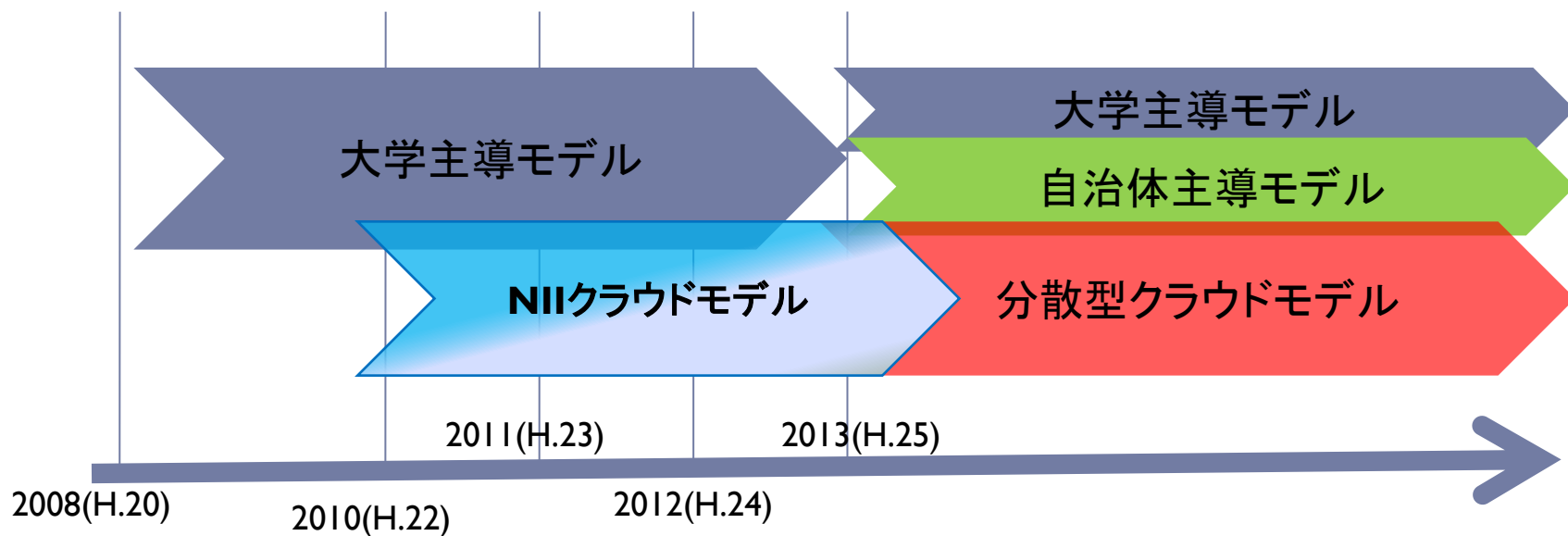
---

- ▶ 対象地域の拡大、コンテンツの充実
- ▶ 自治体主体のセルフアーカイビング支援
  - ・ ボーンデジタル報告書の形成・流通促進
- ▶ 利用拡大のための検索・利用機能の改善
  - ・ 電子／冊子の並行利用支援、情報の発見可能性の向上
- ▶ コミュニティの形成促進、リポジトリの自立的な展開
  - ・ 認知度向上、情報の共有や相互サポート、講習会の開催など

# 今後の展望・課題2

## ▶ 複線的な事業モデルの構築

- NII委託事業終了後の維持・運用モデルの構築
- 国立大学・NII以外でのリポジトリ構築も視野に、広域ブロック毎に分散型クラウドなど
- 自治体の参加を促す複数のモデルを提示





灰色文献グリーン化作戦、試されるのはこれから・・・

---

プロジェクトへの  
ご参加を  
お待ちしております！

